

沖縄を、再び戦場にさせない！

## 6月28日 大阪駅前スタンディング

### 「慰霊の日」を冒涇する日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン26」を許さない

(※上記画像はリブ・イン・ピース☆9+25 が作成しました)

6月23日の「慰霊の日」は、悲惨な沖縄戦の犠牲者を悼み、二度と戦争を起こさないと誓う日です。しかし、この日を挟む6月20日から30日にかけて、米海兵隊と陸上自衛隊を中心とする日米合同軍事演習「レゾリュート・ドラゴン26」が強行されます。佐賀に配備された陸上自衛隊のオスプレイが宮古島や石垣島へと飛び、島々を戦場に見立てた実戦さながらの戦争の訓練を行います。この演習と重ねてアジア太平洋軍が主導する多国間軍事演習「ヴァリアントシールド26」が行われ、鹿児島島の海上自衛隊鹿屋航空基地に米軍の地上配備型中距離ミサイル「タイフーン」が展開されます。タイフーンは核弾頭も搭載可能なトマホークが発射できる中距離ミサイルシステムです。ふたつの演習は米軍の指揮統制のもとで一体化され沖縄の島々での近距離戦闘訓練とフィリピンやオーストラリアからの遠距離戦闘がリンクする統合軍事訓練になっています。

### 沖縄での平和教育の否定と相次ぐ抗議活動への弾圧

政府は辺野古沖での痛ましい船転覆事故などを政治利用し、「平和学習」への介入や反対運動へのレッテル貼りを強めています。

また最近の沖縄では、軍事拠点の強化に対する正当な抗議の声を力でねじ伏せようとする強権的な動きが相次いでいます。宮古島では自衛隊訓練を監視していた住民に対し、駐屯地司令が「許可を取れ」と怒鳴り散らす恫喝事件がありました。これに対し、当該司令

官に対する厳正な処分と謝罪、再発防止を求める国家賠償請求訴訟の公判が沖縄地裁で始まっています。安和棧橋（あわさんばし）での辺野古土砂搬出に抗議中、ダンプに巻き込まれ重傷を負った女性に対し、警察は今月、「重過失致死」容疑での書類送検という暴挙に出ました。安全管理を怠った事業者側の責任を棚上げし、市民を犯罪者に仕立て上げる卑劣な弾圧です。芥川賞作家の目取真俊氏が、経年劣化したキャンプ・シュワブのフェンスに触れただけで、器物損壊罪で在宅起訴されました。情報発信を続ける表現者への明らかな嫌がらせであり、正当な反対運動を犯罪化しようとする国家の企てです。沖縄で進められる戦争の準備・訓練、そして市民への弾圧を止めるために声をあげていきましょう。

### 9月の沖縄県知事選に向けた「対話」と「連帯」を

2026年9月に予定されている沖縄県知事選挙は、辺野古新基地建設や自衛隊の南西シフトの是非を問う極めて重要な局面となります。

米中関係があらたな緊張緩和の時代に入らなれど、日本の高市政権だけが突出して中国との戦争準備に前のめりになっているようにみえます。フィリピンやオーストラリアに殺傷能力のある日本製武器を売り、第1列島戦から西太平洋にかけての戦域に進出し中国包囲網の先兵となりアジアの緊張を高めています。

軍事同盟による包囲網ではなく、「平和共存・平等互惠」の日中友好へ舵を切るべき時です。私たちは、沖縄で起きていることを「沖縄だけの問題」にさせません。大阪の地から、舞鶴、祝園など関西での軍事拠点の強化に反対する闘いと結びつけて、逆風の中で闘うデニー知事とそれを支える沖縄の人々に連帯します。

**6月28日（日）、大阪駅前でも声をあげましょう。** 沖縄で進む軍事化と弾圧を見過ごさず、「戦争を許さない」という意思を、ここ大阪からはっきり示しましょう。どなたでも参加できます。プラカードの持参も歓迎です。

## 【予告】8月23日（日）玉城デニー知事応援集会 in おおさか

- 時間：午後～ ■ 会場：大阪市西区民センター（大阪メトロ・西長堀駅）
- 具志堅高松さん 演題（仮）：逆流に抗して 今、沖縄では  
（沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」共同代表）